



日大工学部との産学連携を支援

企業の皆さまは、大学有識者からアドバイスや知見を得たいなどと考えたことはありませんか？

一方で日大工学部の先生方の中には、研究の必要装置や治具製作をお願いしたい、一緒に研究をしたい等といった思いを持たれている先生もおりますが、産学連携の“接点”が少ないのが現状です。

研究室には、素晴らしい測定器等が多くあり、一般の方でも使用可能なものもあります。例えば、土木建築関係では高性能震動台やシミュレーション機器、機械系関連では高性能3D光学解析装置、電気電子関係では、半導体関連装置など、評価検証に活用できるものがあるものの、広く知られておりません。詳細は今後紹介したいと思いますが、産学連携をきっかけに地域活性、産業創出へと広がり、郡山地域の発展につながればと思います。

マイスターズ・カレッジがスタート

8月24日、郡山地域テクノポリスものづくりインキュベーションセンターで、産学連携製造技術人材育成事業「未来を切り開く人材の育成講座」の開講式を行いました。

「ビジネスに活かすSDGs」や「求人&採用活動を磨く」、「品質管理実践」など、全10講座の内容で16社25名が多様な知識や技術の習得を目指します。



入居者を募集します

ものづくり企業の皆様の新技術や新製品開発の拠点や創業者の拠点として活動できる起業支援室の入居者を募集します。



募集部屋:No.9(事務室タイプ)【15.0㎡】

月額使用料:23,700円

募集期間:9/1(木)~30(金)

入居に際しては、事前に審査があります。詳しくは、お申し込み前にご相談ください。



ロボット制作教室を開催

8月21日にtetteでロボット制作教室を開催しました。参加者は、各種基盤等に抵抗など部品をはんだ付けした後、ロボットを完成させました。ロボットが動かない等のアクシデントも福島大学高橋隆行教授や学生アシスタントの補助で乗り越え、子ども達は笑顔で楽しみました。



【コラム】郡山テクノポリス地域戦略的アライアンス形成会議会員企業から

当社は、1969年に長沼町木城内にて双眼鏡・カメラレンズの研磨工場として創業した(有)木城産業が始まりです。その後、OA機器用ガラス部品やFAX用部品の製造を始めたり、真空蒸着加工等を展開していく中で、ガラスに関するあらゆる加工に携わるようになり、現在に至っています。

海外にも香港、中国(上海、東莞)、ベトナムの4拠点を有しており、本社を含めた5拠点で協力しながら事業を展開しています。新型コロナウイルス感染症拡大においては、海外拠点で街がロックダウンした地域もあり、大変な思いをしました。従業員の一部は、自宅に帰宅できず段ボールベッドで社内に長期間寝泊まりした者もいるなど工場や従業員には苦勞をかけたと思います。

この厳しい状況下だからこそ、今後どう生き残るのか、自社の技術力をどう生かしたらよいか各工場で考え、行動を開始しました。工程で不要になった端材を再利用する取り組みやフッ素コーティング事業を始めたり、新たに真空成型により製品封入用の梱包資材を製造するなど、新たな事業を始めることにもつながりました。

ガラスと樹脂という異なる材質の一体成型技術を生かしたり、自動車用のヘッドアップディスプレイや自動運転に不可欠なLiDAR(ライダー)に関係する成膜関連の取引を受けるなど、新たな産業分野への挑戦を始めています。「私たちは初心を忘れず、未来へ挑戦」という経営理念のもと、今後ものづくり企業(部品加工)の一社として、未永く事業を続けたいですね。



郡山テクノポリス地域戦略的アライアンス形成会議
吉田 尚正
(株式会社吉城光科学
代表取締役社長)

